

1. 件 名：中部電力の廃止措置を活用したケーブル研究に関する意見交換
2. 日 時：令和5年3月17日(金)13時30分～14時15分
3. 場 所：原子力規制庁16階C会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

田口安全技術管理官

橋倉主任技術研究調査官

北條主任技術研究調査官

池田技術研究調査官

皆川技術研究調査官

中部電力株式会社：5名

5. 要旨

中部電力株式会社（以下「中部電力」という。）からの依頼に基づき、同社が実施を検討している廃止措置プラント（浜岡原子力発電所1及び2号機）を活用したケーブル劣化に関する研究内容について、意見交換を行った。はじめに、中部電力より資料に基づき、研究のスケジュール並びに研究項目案として廃止措置プラントから使用済みケーブルを採取して試験を行うこと及び敷設ケーブルに対しケーブル状態監視技術により測定を行うことについて説明があった。これに対し、原子力規制庁より、仮に現在供用中のプラントで使用されている安全上重要なケーブルと同種類のケーブルを採取してケーブル絶縁体の分析を行い、先行研究のデータ等と比較できれば有用な知見が得られるのではないかと、国内外において高経年化に伴いケーブルの状態監視技術の重要性が認識されて技術的検討が進められており、実機敷設ケーブルを使用した基礎的なデータ取得には意味があるのではないかと等の意見を述べた。中部電力からは、今後の廃止措置工程や研究に利用可能なケーブルの調査結果も踏まえつつ、有用な研究となるように研究計画の検討を進めていく旨発言があった。

6. その他

資料：「廃止措置を活用したケーブル劣化に関する研究の実施について」（ご紹介）（中部電力 原子力安全技術研究所）